



一般社団法人 岡山県臨床検査技師会

会報

Okayama association of
Medical Technologists

2017. 7月号
Vol.523

発行責任者

ホームページ: <http://www.okaringi.or.jp>
一般社団法人 岡山県臨床検査技師会

編集責任者

中川裕美
倉敷リバーサイド病院 臨床検査室
TEL: 086-448-1111 (内線 201)
E-mail: hn8226@kchnet.or.jp

◆これからの岡山県臨床検査技師会の予定

月	日(曜)	講演会・行事など
7月	15日(土)	生物化学分析部門講演会 「免疫検査の基礎とデータ判読」 会場: 倉敷芸術科学大学2号館2010室
8月	5日(土)	第1回岡山県臨床検査技師会シスメックス共催セミナー 会場: 岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール
	25日(金)	津山地区講演会「動脈硬化の検査について」 会場: 津山中央病院研修センター 2階 講義室

※関連学会、団体行事、後援行事などは、本会報の別ページおよびホームページにも掲載しています。

<http://www.okaringi.or.jp/>



平成29年度定期総会・特別講演が開催されました

●特別講演を終えて… 一般社団法人 岡山県臨床検査技師会 副会長 黒川 幸徳

「大規模災害時対策について」

講師: (前)和歌山県臨床検査技師会会長 紀南病院 玉置 達紀 氏

近い将来発生するであろう南海トラフ地震などの大規模災害に対し、どのような対策が必要なのかを、過去の災害である阪神淡路大震災や東日本大震災時の状況を踏まえて講演して頂きました。そして実際の和歌山県臨床検査技師会の取り組みとしては、毎年12月を災害月間として「災害フォーラム」を開催して、広く一般の方々に災害対策に対する啓発活動を行っていることや「災害マニュアル」を作成して、通信網などの模擬テストを抜き打ちで行っていることなどの紹介があり、積極的に活動されていることがよく分かりました。

また日臨技の災害対策マニュアルについては、特に災害発生場所とその支部、そして日臨技の災害対策本部との連携チャートでのネットワークの重要性の説明がありました。

最後に、「災害直後は災害対策に対する意識は高いが、経年変化と共に意識が薄れてくるので継続的に活動などを行うことが大切である。」と述べられました。南海トラフ地震が発生した際には大きな被害が予想されている和歌山県と、災害の少ない晴れの国、岡山とでの、大きなギャップを感じた講演でした。



「熊本地震の経験から」

講師: 岡臨技常務理事 高梁中央病院 福島 明德 氏

平成28年4月14日～16日未明に発生した震度7の熊本地震に対して、実際にDMAT(災害派遣医療チーム: Disaster Medical Assistance Team)の業務調整員として参加された時の現地での災害状況や活動内容について講演して頂きました。災害状況では、実際の画像により、道路の崩壊による交通規制や交通渋滞、電気や水道などのライフラインの遮断、建築物の崩壊状況などがリアルに分かりました。現地での活動としては、傷病者の搬送、被災病院等への支援、避難所での物資・生活環境・感染症等のスクリーニングなどを行ったこととの紹介がありました。臨床検査技師がDMATの一員として参加することは、病院などでの検査業務支援、医療知識を活かした情報伝達、避難所でのエコー検査として深部静脈血栓症(DVT)のスクリーニングなどを行うことが出来、「1人でも多くの命を救うために」を念頭に活動されたとのことでした。



●各種表彰

○永年会員30年表彰

田中 順子, 鋼 雅美, 友野 一美, 久木 紀代実, 中川 裕美, 藤岡 克徳,
村峪 辰也, 谷 純代, 森 貴子, 野口 秀樹, 定方 五月, 真田 拓史,
横山 恵三, 中務 二規子, 三宅 健一, 伊藤 隆志, 高橋 勝行, 田辺 康治,
森岡 知子, 日野 寛子, 市川 治, 中川 健, 福留 富美子, 福家 明美

(敬称略 順不同)



○学術業績者表彰

医学検査 Vol.65 No.3

「院内ネットワークを活用し病院情報システムとの連携を実現した生理検査システムの構築」

南岡山医療センター 高松 泉 技師

推薦理由: 本論文は生理検査システム構築にあたり、病院情報システムとの連携を実現可能としたことで肺機能、心電図関連、超音波、神経関連という広範囲な検査を低コストでまとめられ、実現したことが最大の魅力である(70~80%削減)。検査依頼、受付、実施走査に加え、報告書作成および結果報告なども現状のソフト機能をうまく活用した。今後システム導入を検討する施設ではまず参照すべき論文といえる。以上より、学術業績者表彰に推薦する。

○優秀発表表彰

平成28年度 日臨技中四国支部医学検査学会(第49回)

「HbA1c測定によって一酸化炭素中毒を診断し得た1例」

倉敷平成病院 宮川 愛里 技師

推薦理由: 本発表はHPLC法でHbA1cを測定した際にカラムチェックエラーが出現し、その際にクロマトグラムをしっかりと観察し、SA1cからAOピークにおける波形異常から、通常、異常Hbの存在のみ疑うところを一酸化炭素中毒の存在をも疑い、異常Hbの可能性を追加検査で消去するとともに、一酸化炭素中毒を検証するためにCBC検体で血液ガス分析にてCOHbを証明した点は診療に大きく貢献した内容であり、優秀発表表彰に推薦する。

●総会について

定期総会出席者数は144名、議決権行使書による出席者数は935名で、合計1,079名となりました。

定期総会を構成する会員数は1,346名で、定期総会出席者数は過半数を越えており、定款第19条の規定により平成29年度の定期総会は成立しました。

そして、第1号議案の事業経過報告、第2号議案の決算報告、第3号議案の監査報告は承認され、第4号議案の定款改正案も可決されました。



学術部からの お知らせ

平成29年度岡山県臨床検査精度管理調査のお知らせ

以下の日程にて、本年度の精度管理調査を実施いたします。

多数施設のご参加につきまして、よろしくお願いたします。詳細は、後日送付の案内をご確認ください。

参加申込締切: 平成29年7月21日(金)

試料送付: 平成29年8月22日(火)

結果締切: 平成29年9月5日(火)

速報会: 平成29年10月29日(日)

※参加申し込み、結果入力とも日臨技のHPから行ってください。

生物化学分析部門講演会 免疫検査の基礎とデータ判読(演習有り)

日時 平成29年7月15日(土) 13:00~17:00

場所 倉敷芸術科学大学2号館2101室

内容 抗体の作成法 DSファーマバイオメディカル株式会社 坂井 康律 先生
結核および結核感染症検査(QFT, T-SPOT)について

倉敷芸術科学大学 藤本 一満 先生

B型肝炎の現状および最新の検査・治療法

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 近藤 雅紀 先生

イムノクロマトの構造と判定における注意点(演習)

デンカ生研株式会社 試薬学術部 工藤 僚康 先生

生涯教育点数 専門-20点

参加費 500円

問合せ先 倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命医科学科 藤本 一満

TEL: 086-440-1039 E-mail: fujimoto@sci.kusa.ac.jp

☆講演会のポイント: 免疫検査の基礎とデータ判読に役立つ内容としました。講演内容は、①免疫試薬に含まれる抗体の作成法について、②結核の現状および結核感染症検査のQFTとT-SPOTについて、③B型肝炎の現状および最新の検査・治療法について、④イムノクロマトの構造、原理の説明後、判定法および異常反応について(演習)です。尚、参加希望者は日臨技会員専用サイトの会員メニューから事前に参加申込みをして下さい(演習があるため事前に人数把握が必要のため)。当日参加も受付しますが、④の演習ができない場合があります。

・大学までは、新倉敷駅から両備バスあるいは自家用車をご利用下さい。尚、自家用車の方は、入場門で守衛室の方に声をかけて入場してください。(駐車料金は無料です)

第1回岡山県臨床検査技師会シスメックス共催セミナー

日時 平成29年8月5日(土) 15:00~18:00

場所 岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール

生涯教育点数 基礎-20点

参加費 500円

内 容 「イムノアッセイ温故知新」 倉敷成人病センター 佐藤 達郎 先生
「岡山県の医療提供体制の“いま”と“これから”」 川崎医療福祉大学 喜田 泰史 先生
「リキッドバイオプシーの概要および臨床検査への展望」

問合せ先 シスメックス株式会社 好岡 美津子 先生
松田病院 植本 美佐夫 TEL: 086-425-2985 E-mail: up330@okaringi.or.jp

☆講演会のポイント：今年度新たにメーカーとの共催セミナーを開催することになりました。1回目の今回は「最新、過去、近い将来」をテーマに、臨床検査の情報をお届けいたします。近い将来として、2025年問題など今後医療環境は大きな変化の流れがあるなか、岡山県内ではどのように変化するかを知る機会となると考えています。また、日々の検査の成立ちや新しい検査もお伝えし、明日から使えることと今後の備えになるかと思っております。是非、今後を担う若手技師の方々に参加していただき、将来について考えましょ。会場へは公共交通機関にてお越し下さい。

津山地区講演会 **NEW!!**

動脈硬化の程度を調べる 動脈機能検査 ABI・PWV・CAVIを中心に

日 時 平成29年8月25日(金) 19:00～20:30

場 所 津山中央病院研修センター2階 講義室

生涯教育点数 専門-20点 **参加費** 500円

内 容 「動脈硬化の検査」について 岡山赤十字病院 谷口 裕一 先生

問合せ先 津山中央病院 小林 尚子 TEL: 0868-21-8111 E-mail: takako_k@tch.or.jp

☆講演会のポイント：日本人の死因の3割は「脳梗塞」や「心筋梗塞」など、動脈硬化が原因の疾患です。今回、動脈硬化の程度を調べる動脈機能検査について、ABI・PWV・CAVIを中心にお話をしていただきます。又、機械の違いによる見方についてもお話いただきます。

渉外部からの お知らせ

第42回小児糖尿病協会サマーキャンプのご案内

日 時 平成29年8月6日(日)～8月9日(水)

場 所 岡山県青少年教育センター閑谷学校

問合せ先 岡山済生会総合病院 中央検査科 木村 泰治

TEL: 086-252-2211 E-mail: okarin1@titan.ocn.ne.jp

内 容 ボランティアスタッフとして参加してみませんか。新しい発見がたくさんあります。全ての日でなくても、1日から参加できます。

関連団体からの ご案内

第12回生物試料分析科学学会中国四国支部学術集会 **NEW!!**

日 時 平成29年9月2日(土)

場 所 岡山理科大学 A1号館1Fプレゼンテーションルーム

☆ 講習会に行ってきました～ ☆

《平成29年6月3日 一般検査部門講演会「初心者・日当者のための尿検査講座」》    

はじめは緊張しましたが、初心者向けの研修会だったので基礎的なことから知識の確認をすることができました。また、先輩方の貴重なお話を聞き、仕事は取り組む姿勢が大事であることがわかり、これからまた気を引き締めて頑張ろうと思える良いきっかけになりました。

川崎医科大学附属病院 中央検査部 木村 千紘

第53回 岡山県臨床検査技師会ソフトボール大会の結果

日 時：平成29年5月21日(日)

会 場：山田グリーンパーク

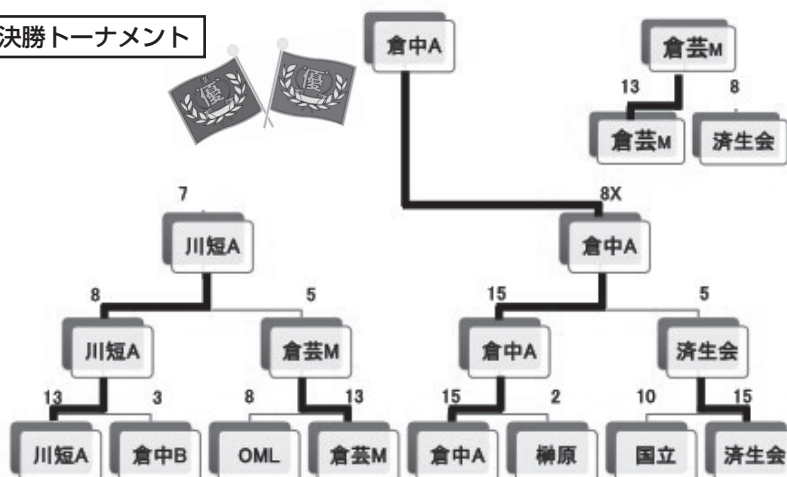
優 勝：倉敷中央病院Aチーム

準優勝：川崎医療短期大学Aチーム

3 位：倉敷芸術科学大学

4 位：済生会総合病院

決勝トーナメント



●各チームの声

優勝チーム

今回は初めての5月開催と暑く、そしてルール変更もあったため今までとは違った大会となりましたが、どのチームも順応しづらい大会でした。決勝では緊迫した中で劇的な試合展開を繰り広げ今年も優勝を手にすることが出来ました。やはり競り合って戦う緊張感と勝った時のあの瞬間は何とも言えない高揚感…最高です！！ここ何年か続けて決勝を戦っていますが、毎年違うタイプのチームがあがってくるのを感じています。打撃や投手力や走力のチームなどで、今年の川短Aチームは圧倒的にチーム力が素晴らしく、強い結束力を感じました。フェアプレーで緊迫の中でもとても清々しいゲームだったと思います。来年さらに強くなってきてまた勝負しましょう！しかし優勝は渡しません！

最後は技師会役員、審判の方々ありがとうございました。また来年もよろしくお祈りします。

倉敷中央病院Aチーム 山内 陽平



準優勝チーム

今年は春の開催となり、天候にも恵まれ絶好のソフトボール日和となりました。

昨年は4位で今年こそは優勝をしたいと頑張ってきましたが、惜しくも準優勝という結果でとても悔しかったです。来年は優勝できるように今後さらなる技術向上を目指し、練習に励んでいきたいと思っています。

最後に今回の大会の企画、準備をしてくださった大会関係者の皆様や、審判員の方々に深く感謝を申し上げます。

川崎医療短期大学Aチーム 細川 祐輔



●ソフトボール大会を終えて…

5月とは思えない暑い日でしたが、しっかり汗を流し、日頃のストレスも一緒に発散できたのではないのでしょうか。珍プレー、好プレーもたくさんありましたが、特に決勝戦は延長までもつれる好ゲームとなりました。

優勝されました倉中Aチームの皆様、おめでとうございます。

惜しくも準優勝の川短Aチームの皆様、来年は打倒倉中で頑張りましょう。

参加した皆さんの熱い一日になっていれば幸いです。

渉外担当副会長 木村 泰治



会長からのお知らせコーナー



第66回 日本医学検査学会

今月は、日本医学検査学会（全国学会）についてのお話しです。「第66回日本医学検査学会・幕張メッセ」に行ってきました。全国学会にて感じたことを書かせていただきます。この数年、学会でリクルートスーツを着た若い人たちの姿を多く見かけることが、とても印象的です。学会のプログラムには学術的な専門分野と、職能団体としての企画などがありますが、若い人が職能団体としての企画「病棟業務」「認知症」「チーム医療」に大勢参加していることに驚きました。私が彼らの年には、臨床検査技師としての学術的なスキルアップが到達目標だったように思います。学術の部分は私たちの責務ですが、それプラス「チーム医療」を考える時代になったのでしょうか。臨床検査技師のスキルを持って臨む「チーム医療」であり、これまでよりも、もっと広くもっと深い知識や技能を要求されることとなります。社会や医療情勢が変化中、私たちの業務も時代に応じて柔軟に変化していかなければならないと感じました。H30年の全国学会は静岡県浜松市で、H31年は山口県下関市で開催されます。発表で参加していただけることを囑望しますが、参加することにより刺激を受け、個人個人の臨床検査技師としてのビジョンなどを考えるきっかけになったら幸いです。

一般社団法人 岡山県臨床検査技師会 会長 岡本 由美

◇岡山県の会員動向◇

会員数：1,358 (4月1,346)
平成29年5月末現在

「会員だより」「お知らせ」などの問合せ先

倉敷リバーサイド病院 臨床検査室：中川 裕美まで
TEL：086-448-1111(内線201) E-mail：hn8226@kchnet.or.jp